

学生が“社会にいいこと”をするラボ

連携先：株式会社中国銀行、株式会社山陽新聞社



00背景

昨今の企業価値とは、利益はもちろん、環境や社会に対し、どれだけの価値を生み出しているかで評価される時代であることを背景として、20名の経営学科3年次生が教員3名と1年間取り組む。

01課題

経営学の中で価値のデザイン（設計）を研究する事を目的とし、ビジネスが社会的な問題を解決するのに役立つかどうか、「クラウドファンディング(以下CF)」という手段で実証する。

02内容

2-1 **仕組みを学ぶ**→社会的な価値+経済的価値を生む仕組みを学ぶ。

2-2 **企画する**→ストーリー化による価値設計を行い、CFを企画する。



▶コロナの影響で各種イベントが中止となり、子供たちの遊び場や思い出作りが出来ない状況であることから、親子で体験できる思い出作りの場を提供することにした。

2-3 **企画の具体化**→コンセプトを設定

▶**廃材を利用し再資源化に価値を積み上げる**こと



「SDG sでお仕事なりきり大学」を企画する。

プログラム開発、科学者実験体験、エコバッグ製造体験、理大生ならではの3つのコースを企画。廃材などを利用した職業体験を親子で体験してもらい、SDG sへの理解を深めてもらうイベントを学生主体で行うことが決定した。



03結果_クラウドファンディングの実行

<クラウドファンディングサービス「READYFOR」で実施>

- 【SDG sでお仕事なりきり大学】▶目標金額120,000円達成！
- 【岡山SDG s オンラインかるたゲームを制作したい！】
SDG s ラボからのサポート依頼を受け、共同プロジェクトとしてスマホゲーム開発のクラウドファンディングを実行。▶目標金額260,000円達成！
- 【ネパールこどもプロジェクト】外部依頼プロジェクトとしてクラウドファンディングの企画をサポートした。



2020年11月19日山陽新聞朝刊



SDGsでお仕事なりきり大学！親子で楽しく学ぶSDG sと職業体験！

岡山理科大学経営学部 社会にいいことをするラボ